



# 男女共同参画推進センターにおける支援制度 【研究支援員制度】

## 概要

ライフイベント期（妊娠、育児、介護・看病等）の研究  
者に対し、研究支援員を配置することにより、研究活動を  
補助し、研究者のキャリア継続・形成を支援することを目  
的としています。

## 応募資格

ライフイベント（妊娠、育児、介護・看病等）による事由に  
より、十分な研究時間を確保できない研究者（教員、研究員）  
※産前・産後休暇、育児休業又は介護休業中の者は除きます。  
※研究者自身の病気を理由とした利用は、現時点では認められ  
ていません。

## 利用期間

年に2回利用できます（前期：6月～9月、後期：10月～3月）。  
前期利用者を3月に、後期利用者を7月に募集します。

このような制度があることは、教員の研究者とし  
てのキャリアについて大学がしっかりと考えてくれ  
ていると感じることができます。学内で研究者とし  
てのキャリア形成を支援する制度があることは精神  
的にも良いと感じます。

育児参加に伴い、研究に割ける時間がなくなって  
しまったが、本制度による支援によってプロジェク  
トを滞りなく進めることができました。自身のキャ  
リア形成に非常に有益であったと考えています。

## 利用者の声



利用研究者



研究支援員

実験の面白さや奥深さに触れることができました。  
学校での実験ではなく、この様な制度を通して長期  
的に実験を学ぶことで研究が面白いと思えるよう  
になりました。将来医師として研究の道も前向きにこ  
れから考えていきたいと思えます。

自身が研究スキルアップするのはもちろんのこと、  
我々の生活面の支援として大いに役に立ったと感じ  
ております。支援研究者は、ライフイベントによっ  
て満足に研究を遂行できない可能性もあるため、こ  
の制度があることでお互い利点を楽しむ非常に  
良い制度だと感じております。

## 研究支援員

利用研究者が推薦する

- ・学部学生
- ・大学院生
- ・大学院課程修了者等（常勤の職に就いていない者）

※男女共同参画推進室長が大学院生と同等の能力があると認  
めた学部卒業者（常勤の職についていない者）は研究支援員  
になることができます。

## 支援内容

利用研究者の研究活動に必要な実験補助、研究データの  
解析、統計処理、文献調査、発表資料作成等の研究補助業  
務を行います。

※支援員自身の研究を行うことはできません。

〈問い合わせ先〉

男女共同参画推進センター



【TEL】 099-285-3012（内線3012）

【E-mail】 gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp

